

# 市連協会議 議事要旨

市民自治推進課

件名	令和4年度第1回 千葉市町内自治会連絡協議会
日時	令和4年6月21日(火) 10時00分～11時00分
場所	千葉市役所 本庁8階 正庁
出席者	≪市連協≫各地区連協会長 計37名 ≪各区連協事務局≫各区地域づくり支援室長 計6名 ≪事務局≫市民自治推進課長他 計5名

## 1 開会

- ・会長挨拶
- ・新任地区連会長紹介

## 2 議題

- ・令和4年度市連協会長について

### 事務局長

市連協会長は会則第6条において、区連協会長から選出し、市連協会議に諮り、承認を受けることとなっている。毎年度、各区連協会長が持ち回りで市連協会長に就任しており、この慣例に従うと令和4年度市連協会長は中央区連協会長にご就任いただくこととなるため、議案として提案するもの。

### 地区連協会長

令和4年度市連協会長は中央区連協会長ということで、承認をいただけるか。

⇒【 構成員の賛成多数 】

⇒令和4年度市連協会長は、中央区連協会長となった。(6月21日付就任)

## 3 新任会長挨拶

## 4 報告事項

### (1) 令和4年度市連協構成員及び各種委員について

令和4年度年間行事予定について

地区町内自治会連絡協議会の運営に関するアンケートの実施について(市連協事務局)

(本報告事項について、質疑等なし)

### (2) LINEで地域課題を通報できます(広報広聴課)

(主な質疑)

### 地区連協会長

(問) LINEを使用している自治体も増えてきている。

元々外国の会社だが、サーバーの管理は日本で行っているのか？

(答) LINE社のサーバー管理についてはお答えしかねるが、一般的な話として、総務省からも一定の安全性は確保されていると伺っている

(問) 気にならない方もいると思う。しかし、国内で管理されていれば良いと思うのだが、そうでなければ、情報の管理やセキュリティ面等で問題点が残っていると思う。

(答) 気になる点だと思われるので、確認したい。

<補足説明>

LINE社によると、トーク内のテキストデータ・電話番号・LINE IDなどは従来より日本国内で管理されていたが、画像・動画データは国外のサーバーで管理されていた。このことについて、LINE社は2021年6月21日付けでトーク内の画像・動画データの日本国内への移転を完了している。

(3) 千葉市まちづくり応援寄附金について（市民自治推進課）

（主な質疑）

地区連協会長

(問) 今までも、自分の町内自治会に寄付したら、税務上、やり方によっては控除も出来ると思うが、千葉市まちづくり応援寄附金だと何かいいことはあるのか？

2点目、寄付者は対象団体を指定するのか？

3点目、寄付者はふるさと納税を活用するとのことだが、寄付額のうちどの程度が対象団体に支払われるのか？

(答) 1点目、所得や世帯構成にもよるが、寄付額から2,000円を引いた額が税額控除となる。よって、その部分においてメリットになると考える。

2点目、団体については寄付する際に指定していただくこととなっている。

3点目、千葉市まちづくり応援寄附金については返礼品なしとしており、それが理由というわけではないが、寄付額そのままが対象団体に入る仕組みになっている。

(問) 寄付のメリットについて、従来に比べ、最近は寄付対象が色々と認められてきており、それを考えるとあまりメリットはないと感じるのだが。

(答) 寄付の際の控除について、所得税法など、法律で規定されていると思われる。

町内自治会が対象となるかは把握していないが、基本的に、ふるさと納税は税の控除として、寄付者にメリットが大きいものであると聞いている。

よって、公的な団体への寄付と比べても、同等の税控除を受けられるのではないかと考える。

地区連協会長

(問) 千葉市まちづくり応援寄附金の対象団体やこれまでの寄付額の実績は？

(答) 現在の登録団体数は34団体。

実績は令和2年度が70件で7,765,000円。令和3年度が145件で7,729,748円となっている。

(問) 思っていたよりも、金額の規模などが大きいと感じる。

(答) 各団体からも周知などを行っていただいているため、それが実績につながっていると考える。

## 5 その他（事務局）

令和4年度第2回市連協会議（10月4日）について

## 6 閉 会